

【質問2】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 赴任する前、赴任に当たって不安に感じていたことはありますか。	【質問】 実際に赴任して、その不安は解消されましたか。
大島町	教諭	男	30代	①単身赴任となるので、どのくらいの頻度で東京に帰れるのか。 ②生活に必要な物資は購入することができるのか。	①部活動等があり、制限がありますが、自分の都合に合わせて上京することができました。 ②食料品や日用品などは内地と同じように購入できました。家電製品などはまだ販売している店舗を把握していません。そのため、通販などに頼る場合もありました。
大島町	教諭	女	30代	医療面で、都内の病院に通院ができないので、大変だと思いました。	実際に、島外の病院に行かないといけないので、困難な所もあります。
大島町	教諭		20代	引っ越しはどうやってするのか。	
大島町	教諭	男	20代	引っ越しを伴うので、経済的な負担が生じること	輸送費等を負担していただいたので、一部不安は解消したが、家具家電、マイカーの購入費等の負担額は大きかった。
大島町	教諭	女	20代	①結婚や出産等の時期が思い描いているものから変わっていくことへの不安 ②研修に気軽に参加することができなくなることへの不安 ③車の運転をしたことがなかったため、車を運転することへの不安	①職場の先生方に支えていただき、不安は少なくなった。 ②長期休暇で上京した際に集中して研修に参加するなど自分の意識を変えることで、不安は解消された。 ③交通量が少ない島の道は運転しやすく、不安は解消された。
大島町	教諭	女	30代	住宅環境	ピアノを置ける環境ではないこと。住宅は選ぶことができないこと。修繕や部屋のクリーニングがされていないまま住むことになり、不衛生。 修繕するにも駆けつけてもらうのに数日必要なことや、我慢して生活している部分はある。水に慣れない。
大島町	教諭	女	30代	①生活用品をどの程度島でそろえることができるのか ②医療の現状 ③車の購入は必須なのか	①心配するほどではなかった。 ②未だにコンタクトをどこで購入したらいいかわからない。 ③説明は曖昧だったが、必須である。  ・希望していなかった人にとっては急に必要になる費用であって、車の購入（結局ないと生活できない）や生活用品（大型家電）をそろえることなど、結局想像以上に費用がかさんだことが、困った。引っ越しを伴わない異動だったらこの出費はないと考えると、心の負担にプラスで追い込まれる気持ちになった。

【質問2】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 赴任する前、赴任に当たって不安に感じていたことはありますか。	【質問】 実際に赴任して、その不安は解消されましたか。
大島町	教諭	女	20代	①知り合いがいない不安 ②虫でかい問題 ③パスポート、免許更新 ④湿気問題 ⑤家賃&住宅	①小中学校の先生で繋がりができるので、徐々に不安も解消されていきます。また、初異動、二校目で島という人が圧倒的に多いので、同世代の繋がりができやすいと思います。また、女性の先生はほとんど、早く出たい、と思っているので、自分だけじゃないので、ぜひ悩みを共有して悩まず3年間続けてほしいと思います。 ②毎日都内より大きいのに出くわすので…慣れます！慣れるしか生きていけません！くも、むかで等とにかく大きい…。 ③パスポート、免許更新は島でできます！ ④部屋の階数にもよりますが、一階に住まわれる方は特に湿気がひどいです。スーツ衣類までカビます。早めに除湿器を購入されることをお勧めします。<※ 各島とも湿気が多いことは確かです。多くの方が湿気対策をされています。対策をすれば、カビ防止を防ぐことは十分可能です。> ⑤実際は共益費が意外と高く家賃+5000円前後を想像しているといいと思います。住宅選びは慎重に。何を優先させるかにより、住む地区、条件などが変わってくると思うので良く質問した方がいいと思います。私はきれい、広い、職場から近いという条件で希望を出しました。安いところは、広いけど本当にぼろぼろ…という場合もあります。
大島町	教諭	女	30代	①都内で暮らしていると車の免許はあっても車に乗らないのでそこが不安でした。 ②また、都内に戻れるのが月1回程度という話でした。	①実際、赴任した1年目は同じ学校の先生の車に同乗させてもらい、2年目から車通勤になったのですが、都道での運転は怖く、「空き時間に教習所に通って」とも言われましたが、そんな余裕は無かったように思います。(時間も気持ちも)でも、何事も慣れだと今は思っています。 ②これも時間や心・体に余裕ができれば1回以上上京することもできそうです。逆に上京できなくても、不便に感じることはなくなりました。
大島町	教諭	男	30代		・私生活の不便さに困ることがあります。特に家族や友人にもなかなか会えなくなることには困っています。不安というよりも実際の不便さですが。 ・島しょ地域ならではの地域とのつながりになじめるか、また、どの程度で線引きをするのが難しいと感じています。 ・3学年分の教科指導計画を立てたり、テストを作成したりすることがとても負担になっています。授業数も12時間あり、部活動もあり、限られた空き時間の中ですべてをこなしていくのはとても大変です。
大島町	教諭	男	20代	①新しい職場で自分がどの程度仕事ができるのか(他の職員の足を引っ張ってしまわないか。 ②水を蛇口からそのまま飲むのだろうか。	①自分ができているかどうかよくわからない。 ②飲めた。

【質問2】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 赴任する前、赴任に当たって不安に感じていたことはありますか。	【質問】 実際に赴任して、その不安は解消されましたか。
大島町	教諭	女	20代	<p>①親や友人、婚約者に簡単に会うことができない、なにかあってもすぐにかかけつけることができないという状況に不安を覚えました。また、そのために、どの程度離島できるのかということも不安でした。</p> <p>②車の免許は持っていましたが、都内では運転の経験はほとんどなく、ペーパードライバーでしたので、車がなければ生活できないということに、不安がありました。</p> <p>③住宅の状況について、入居するまで不安がありました。立地や家の中が分からず、また、その希望が叶うかどうかもわからない状態で、すぐに住宅の希望を出さなくてはならないため、入居するまで家がどのような様子なのか不安でした。</p> <p>④島しょのため、前任者とのなかなか打ち合わせができず、わからないことが多く、不安でした。特に養護教諭は、異動後の配慮生徒の対応や、すぐに健康診断があるため、不安がありました。</p> <p>⑤実家で生活していたため、一人暮らしのための家財道具や車などを新しく購入することになり、準備のための支出が多く、金銭面での不安が大きくなりました。</p>	<p>①離島については、管理職の先生や校内の先生方から、快く承諾していただき、ありがたく思っています。ただ、高齢で入院中の祖父がいることもあり、すぐに駆け付けられないということについては、不安は解消されていません。</p> <p>②実際には、片道一車線で分かりやすい道なので、あまり負担はなく、数回の練習で、運転にはなれることができました。</p> <p>③3月の説明会の時に、家の外観や中の写真を配布してもらえるとイメージが持て、少し安心できると思います。</p> <p>④どうにか前任の先生に時間を取ってもらい、3月31日に、都内で打ち合わせをしました。島しょ異動の際の、前任者との引き継ぎの体制がきっちり決まっているとありがたいと思います。</p>
大島町	教諭	女	30代	<p>島のことを全く知らない時は、生活に必要なものが手に入るのかくらい心配していたように思います。</p>	<p>実際、船が動いている限り大島のスーパーでは何でも買えます。できるだけ島でお金を落とそうと思いつつ、実際は楽だからと西友ネットスーパーに頼っていることを反省するくらいです。(大島は内地と送料は変わりませんので。)</p>
利島村	教諭	男	20代	<p>・授業の形態…複式学級があるのか、他教科を教える可能性があるのか。少人数授業の実際。</p>	<p>・実際に教え始め、特に1対1の指導の在り方を模索する日々が続きましたが、徐々になれていき、不安は自然に解消されました。</p>
利島村	教諭	男	30代	<p>①インターネット環境などが整っていないのではないかとということ。</p> <p>②食事に関して、料理ができなくても困らないようになっているだろうということ。</p>	<p>①来島してみて、内地と変わらずスマートフォンやパソコン、タブレットなどが使用できるので、非常にありがたいです。事前に自分の機器が使えるかどうかの確認は必要だと思いますが、これからさらに利便性が高まっていくと思いました。</p> <p>②利島に関しては、最低限自分で料理ができないといけないと思いました。ただ、事前に聞いていたよりは、店に品数も多く冷凍食品やレトルト食品も充実しているため、食べること自体に困ることはなさそうです。</p>
利島村	教諭	男	20代	<p>①ライフライン</p> <p>②教職員住宅の様子、前の方が残された家具や家電製品の状態</p> <p>③食料品の購入</p> <p>④インターネットの接続状況</p>	<p>①基本的に安定しており、安心した。</p> <p>②事前に集約していただき、何を購入すべきか判断することができた。老朽化は進んでいるものの、買い直したり、修繕しながら生活することができている。</p> <p>③商店などで購入でき、種類は豊富ではないものの、生活に困るようなことはなかった。</p> <p>④スマホを使い、PCは未購入であるが、特段の不便さは感じていない。通信速度がおそくなることはある。</p>
利島村	教諭	男	50代	<p>・特にありませんでしたが、食堂が無いので強いて言えば日々の食事です。</p>	<p>・おかげさまで料理がうまくなりました。</p>

【質問2】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 赴任する前、赴任に当たって不安に感じていたことはありますか。	【質問】 実際に赴任して、その不安は解消されましたか。
新島村	教諭	女	20代	<p>①狭いコミュニティの中で気が合う人が見つかるかどうか。</p> <p>②閉鎖的な環境に精神的に耐えられるかどうか。</p> <p>③村の人々とうまくやっていけるかどうか。</p>	<p>①最初の1年間は人付き合いに無理をしていたため、苦しかった。気が合う人は見つからなかった。2年目からは、割り切って、無理に飲み会などに参加しないようにした。気が合う人も出てきて、楽になった。3年目も、無理をせずに人付き合いをしている。気が合う人がいなくても、自分のやりたいことをやるようにしている。</p> <p>②最初の1年間は、出張が無く、ほとんど離島しなかった。離島をもっとすれば良かったのに、謎の気遣いで離島を我慢してしまい、ときどき息苦しく感じた。2年目からは道場の出張で月1回の離島をし、気分転換になっている。島ではできないこと、島では会えない人がいるのは事実で、閉鎖的な感じは今もするが、普段は仕事に夢中で気にならない。元気がないときに妙に寂しくなることはあるが。</p> <p>③村の人々との関わりは、無理に距離を縮めなくとも、仕事や生活にそこまで影響はないので、今は自分にとってほどよい距離である。ただ、村の人々と繋がっていた方が良いことも多い。</p>
新島村	教諭	男	30代	生活するために必要な家具や家電が揃うかどうか不安でした。	
新島村	教諭	男	30代	<p>①赴任前からお付き合いをしている方がいたので、遠距離になってしまうことが少し心配でした。</p> <p>②また、私は「特別支援学級の立ち上げ」と言われて赴任しました。島内や地域の特別支援教育についての理解はほとんど進んでいないと聞いていたので、どのように理解をすすめていくべきか悩みました。</p>	<p>①私はその後結婚しましたが、恋人や家族と離れることに不安を感じる方は多いのではないかと思います。距離ができてしまい、恋人や家族とうまくいかなくなってしまった人の話も聞きます。ご家族と一緒に島に赴任された方でも、ご家族が島の生活に適応できず、大変だったという話も聞きました。</p> <p>②学級立ち上げ直後はとても大変でしたが、同僚や管理職の先生方のご協力もあり、1年間で特別支援教育への理解はかなり進み、島内で積極的に協力していただける体制もできました。</p>
新島村	教諭	男	20代	場所や移動手段などで不安があった。	すぐに解消された。
新島村	主任	男	30代	<p>①大きな病院がないので、救急なケガや病気になったときの医療の対応について</p> <p>②狭いコミュニティでのプライバシーについて</p>	<p>①今のところ、困ったことはない。</p> <p>②プライバシーについては、想定通りでした。</p>
神津島村	教諭	男	30代	プライバシーのない生活になるのではないかと不安でした。	思っていたほどすべてが筒抜けな状態でもありませんでした。ただ、噂話が流れやすいというのは否めないかもしれません。
	教諭		20代	生活面 買い物を都内にいた頃のようにできないこと、どのような物資が島内にあるのか	実際に生活して、最低限のものは売っていて、どうしても欲しい物がある時は、都内に出た時や通販で買っている。